

高校公民プリント（過去問類似）

源流思想と宗教 No.1

名前

得点

/10

問1 ある中国の思想家は、人為的な道徳や制度は人間の私的な欲望を増大させ、争いを生む原因であると考えた。この思想家が提唱した、作為を排除して宇宙の根源である「道（タオ）」に従い、あるがままの素朴な生き方に立ち返るべきだとする思想を何というか。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 徳治主義 2. 無為自然 3. 法治主義 4. 兼愛非攻

問2 中国の戦国時代において、人間は利己的な存在であるという性悪説の立場を継承し、君主が国家を統治するためには、主観的な道徳や礼儀ではなく、厳格な賞罰を伴う客観的なルールと、臣下を統御する技術を用いるべきであると主張して、法家思想を大成した人物は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 公孫竜 2. 呂不韋 3. 韓非子 4. 申不害

問3 大乘仏教において、自己の救済（自利）にとどまらず、他者の救済（利他）を優先する「菩薩」の生き方が理想とされた。この菩薩が、生きとし生けるものに樂を与え、その苦しみを取り除くために抱く、仏教における普遍的な愛の精神を何というか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 無常 2. 解脱 3. 慈悲 4. 中道

問4 古代ギリシアの哲学者である人物Aは、著作『パイドロス』において、文字で書かれた言葉は自ら弁明することができず誤解を招きやすいという限界を指摘した。これに対して、生きた人間同士が直接交わす言論こそが、相手の魂に直接植え付けられ、真の知識をもたらすと考えた。この人物Aは誰か。（2015年 全国公立入試 類似）

1. パイドン 2. ピュロン 3. プラトン 4. クリトン

問5 王陽明が説いた、人間が生まれながらに持つ道徳的判断力を、私欲に妨げられることなく日常生活の行為において全面的に発揮・実践することを何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 良知説 2. 知行説 3. 心即理 4. 致良知

問6 ユダヤ教の律法に由来し、キリスト教の創始者によって「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」という教えにまで徹底された、民族や敵味方の区別のない無条件・無限の愛を意味する、キリスト教倫理の核心となる概念は何か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 隣人愛 2. 予定説 3. 終末論 4. 兄弟愛

問7 儒教の祖とされる思想家は、弟子から「生涯にわたって実践すべき一言はあるか」と問われた際、「己の欲せざる所、人に施すこと勿れ」という言葉を用いて、他者の立場に立ってその心を推し量る思いやりのあり方を説いた。この、生涯を通じて貫くべきとされる思いやりの精神を指す漢字一字の概念は何か。（2013年 全国公立入試 類似）

1. 仁 2. 礼 3. 義 4. 恕

問8 イスラームにおいて、唯一神アッラーや預言者などの具象的な姿を描くことが厳格に禁じられた結果、モスクなどの礼拝所を飾るために発達した、植物の茎や葉、幾何学模様などをモチーフにした複雑な装飾文様を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. アラバスク 2. ムカルナス 3. モザイク 4. ミニチュール

問9 初期仏教において、世俗の家庭にとどまりながら教えを信奉する人々に対して、不殺生（生きものを殺さない）、不偷盗（盗みを働かない）、不邪淫（不道徳な性交渉を行わない）、不妄語（嘘をつかない）、不飲酒（酒を飲まない）という、日常生活の中で遵守すべき5つの基本的な道徳的規範が示された。この規範を何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 五戒 2. 十善 3. 十戒 4. 八戒

問10 プラトンは人間の魂を三つの部分に分け、それぞれが適切な徳を備えることで魂全体の調和（正義）がもたらされると考えた。このうち、頭脳の働きである「理性」の指導に従い、適切な教育を受けることで「勇気」の徳へと高められる、胸に宿る怒りや意志の働きに対応する魂の部分は何というか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 気概 2. 理知 3. 欲望 4. 理性

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 2 無為自然	老子や荘子に代表される道家思想の根本的な概念である。儒家が重んじる仁義などの人為的な道徳（作為）を否定し、宇宙の根源的なあり方である「道（タオ）」に従って、作為のないあるがままの状態で生きることを理想とした。
問2	答え 3 韓非子	人間は本質的に利己的な存在であるという荀子の性悪説を前提とし、社会秩序の維持には道徳ではなく、客観的な基準である「法」と、君主が臣下を操るための「術」が必要であると説いた。この思想は、のちに秦の始皇帝による中央集権体制の確立に大きな影響を与えた。
問3	答え 3 慈悲	大乘仏教では、自らの解脱のみを追求するあり方を批判し、すべての衆生を救おうとする菩薩の姿勢が強調された。この菩薩の利他行の根底にあるのが、衆生に楽を与える「慈」と、衆生の苦を取り除く「悲」を合わせた精神である。
問4	答え 3 プラトン	『パイドロス』において、文字（書かれた言葉）の限界を指摘し、対話（問答法）を通じて魂に真理を植え付けることの重要性を説いたのはプラトンである。彼は師ソクラテスの対話の姿勢を継承し、対話篇という形式で多くの著作を残した。
問5	答え 4 致良知	孟子が説いた、学習を必要としない先天的道徳心を心の本体と位置づけ、それを私欲によって曇らせることなく、実際の行動において完全に実現することを指す。
問6	答え 1 隣人愛	キリスト教の創始者であるイエスは、ユダヤ教の「隣人を自分のように愛しなさい」という律法を継承しつつ、その「隣人」の範囲を敵にまで広げた。彼は「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」と説くことで、自己を迫害する者をも包み込む、分け隔てのない無条件・無限の愛の原理を示した。
問7	答え 4 恕	孔子は『論語』において、自分が望まないことを他人に強制しないという、他者を思いやる精神を重視し、これを生涯行うべき道とした。この精神は、儒教における人間関係の基本となる重要な道徳概念である。
問8	答え 1 アラベスク	イスラームでは偶像崇拝が厳格に禁止されているため、キリスト教の聖画や仏教の仏像のような神仏の具象表現が発達しなかった。その代わりに、無限に広がる神の創造性を象徴するものとして、幾何学模様や植物文様、アラビア文字を組み合わせたアラベスクと呼ばれる独自の装飾美術が高度に発達した。
問9	答え 1 五戒	仏教において、出家せずに世俗で生活する信者（在家信者）が守るべき基本的な5つの行動規範を五戒という。これらは日常生活における道徳的な自己規律であり、世俗を離れて修行に専念する出家信者に課せられたより多くの厳格な規則（具足戒など）とは区別される。
問10	答え 1 気概	プラトンは魂を理性、気概、欲望の三つに分類した。このうち、怒りや意志の座である「気概」は、理性の指導に従うことで「勇気」の徳を実現し、国家における防衛者（軍人）の階級に対応するとされた。